

(学年) 第3学年, (教科・科目) 国語・古典 B
 (単元) 名家の文章 (臨江之麋 柳宗元)

(本時のねらい)

漢文訓読についての基本的な事項について十分には習得できていない生徒が多い。そのため、基礎を確実に押さえながら、古典を読み親しみ、自分自身と関連させて考える経験を生徒にさせたいと考え、本時の活動を構想した。

(ICT 活用方法)

教科書本文と書き下し文・口語訳を併記したプリントを事前に配布し、授業では配布したプリントと同じものを電子黒板に投影し、電子ペンで書き込みを行って、基本的な知識理解の確認を行う。

教材の内容全体をまとめる図を動きのある形で電子黒板で提示して、生徒の興味関心を高めつつ、登場人物相互の関係や比喻表現の内容に対する思考を促し、理解を助ける教材となるよう工夫した。

(ICT 活用方法)

| 時間 | 学習活動 | 指導事項 | I C T活用方法 | 備考 |
|-----------|----------------------------------|--------------------------------|--|----|
| 導入 5分 | ・スムーズに本時の学習に入れるよう、本前時の学習内容を確認する。 | ・本文の読み方と口語訳を確認して、本時の活動の準備をさせる。 | ・前時の学習内容を電子黒板に投影し、登場人物や場面を確認しやすくする。 | |
| 展開 30分 | 1 教材の後半部分の音読・書き下し文と口語訳の確認を行う。 | ・指名発表させながら、電子ペンで正解を記入し、確認させる。 | ・理解のポイントとなる個所を精選して空欄にし、生徒が重要箇所を理解しやすくする。 | |

走^リ欲^ス与^ニ為^リ戯^レシ

走^リりて

走^リつていつしよに遊ぼうとした。

⑩ 外^ノ犬^ヲ見^テ而^シ喜^ビ且^ツ怒^リ

外^ノ犬^ヲ 見^テ喜^ビ且^ツ怒^リ、

よその犬は、それを見て喜びながらも怒り、

共^ニ殺^シ食^シ之^ヲ、狼^ノ藉^シ道^{上^ニ}

共に殺して之を食らひ、

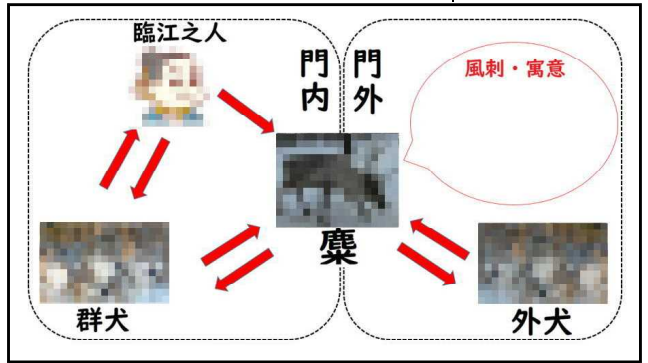
皆^ニなれしかを殺して食い、道には食べかすが散乱した。

⑪ 麋^{至^リ死^ス不^レ悟^ル}

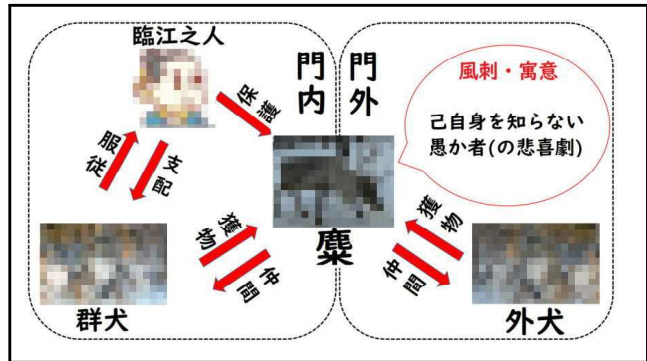
麋死に至るまで悟らず。

なれしかは死ぬまで自分の()に気づかなかつたのである。

| | | | | |
|-------------------|--|---|---|--|
| | <p>2 作品の内容をまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の相互の関係性を確認する。 ・ナレシカの愚かな行動の原因を考える。 ・ナレシカの愚かな行動がもたらした悲劇から教訓を見出す。 | <ul style="list-style-type: none"> ・電子黒板を見ながら自由に発表させる。 ・現代文で学習したイソップの寓話についての評論教材で学習したこととも関連させる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・動きのある図を見せながら、「これは誰?」「〇〇したのはどうして?」等, 楽しい雰囲気の中で学習が進められるよう配慮する。 | |
| <p>まとめ 5分</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習を振り返る。 | <ul style="list-style-type: none"> ・自分自身と関連づけて考えることの大切さを理解させる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・「風刺・寓意」の内容を考えさせて記入させる。 | |



(授業の様子)



使用したワークシート

(生徒の反応と課題, 改善を要する点)

担当したクラスでは生徒の興味関心をひく時点から大きくつまづき, 所期の効果を上げることはできなかった。他のクラスで同じ資料を用いて授業を行った同僚には好評で, 生徒の反応も良く, 生徒の思考の活性化を促すことができたとのコメントをいただいた。

1 時間 2 時間分だけ工夫をしても普段の積み上げがないと効果は薄く, 早い段階から学習意欲の喚起と基礎学力の充実のために ICT を活用した授業を行うことの大切さを痛感させられた。